

立冬も過ぎて、朝晩の冷え込みが一段と厳しくなってきました。紅葉が美しい季節です。現在会員登録数 1,591 人さま。ご愛読ありがとうございます。次号は 12 月 20 日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

- 【1】お知らせ
- 【2】コラム
  - 《1》 YO!この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk
  - 《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 51
  - 《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー
  - 《4》 行って来ました!
- 【3】全国のイベント紹介
- 【4】プレゼント

■ 【1】お知らせ ■

● 当財団の「巖谷小波文芸賞 特別賞」受賞が決定!

公益財団法人 日本青少年文化センターでは、毎年、青少年文化の分野で活躍する個人や団体を顕彰されていますが、その「第 37 回巖谷小波文芸賞 特別賞」を当財団が受賞することが決定しました。

受賞理由は、「巖谷小波没後 80 年記念大会を日本児童文学学会とともに実現し、また貴重な新資料の受入と整理を進めるなど、小波研究の領域を大きくひろげた活動に対して。」とされています。贈呈式は 11 月 26 日（水）、東京・山の上ホテルで行われます。

当財団としては、この上ない名誉なことであり、皆さま方のご支援に心から感謝申し上げます。

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

■ 【2】コラム ■

\*\*\*\*\*

《1》 YO!この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

\*\*\*\*\*

『文学少年と運命の書』 渡辺仙州/作 ポプラ社 2014年9月

対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：16世紀、明時代の中国。絹商人の息子、呉承恩は無類の文学好き。ある日、食物の代わりに書（文字で書いた物語）を食べる玉策という幼女に出会う。玉策は泰山の道教の寺院にあったすべての人の運命を記した禄命簿「玉策」が盗人によって山から落とされた時に人となった。人の運命を読んだり、変えたりすることのできる玉策は盗賊、将軍、帝から命を狙われ、承恩とともに逃げ続ける。

Y：初めて読んだ時、中国を舞台にしたこれまでにない歴史ファンタジー作品だと思いました。

O：著者が「三国志」や「西遊記」などを熟知していて、それらに深い愛情を抱いているのが伝わってきました。主人公の承恩は、後に「西遊記」の著者として知られるのですが、作品にもあとがきにも書かれていません。中国文学に詳しい読者には、いろいろ特別な「おまけ」をしかけているようですね。

Y：愚かな帝、策士の将軍、将軍に忠誠を尽くす承恩と同じ年ぐらいの性別不明の暗殺者、義賊など、役者が揃っていて活劇のような展開を楽しめました。詳しくはわかりませんが、背後には中国の古典作品のドラマ性と通じるものがあるように感じました。

O：禄命簿の化身である玉策が書を食べるという発想がおもしろかった。私たちは本を読むことを、食べることに例えることがありますが、玉策はまさに、物語を食べています。最初は書物食べていたのが、次第に承恩の書く物語を食べようになり、それによって承恩の作家としての才能が開花していく。

Y：作品の展開の中で、物語とは何か、物語のおもしろさとは何か、物語から生き方や歴史を学ぶことの大切さなども伝えようとしていることが読み取れました。

O：運命とは何かというのもこの作品のテーマでしたね。玉策はすべての人の運命を知っているため、承恩の父を経済的に助けるために占い師になり、よく当てると、それを知った将軍に捕えられ、自分の運命を変えるように迫られます。

Y：この結末は納得して読みました。また、承恩と玉策のユーモラスな会話も印象に残りました。ただ、タイトルはこの作品のおもしろさが伝わらないように思いました。

O：私もあえて言えば、著者のうんちくを、この時代の町や風景描写、道教のお寺のこまごました史実、承恩の人物像の掘り下げや玉策の神秘性などをもっとたっぷり披露して、書き込んでほしかったです。次作が楽しみ、期待がふくらんでいます。

\*\*\*\*\*

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 51

\*\*\*\*\*

その9 おはなしを語る（3）おはなしを選ぶ 1

「おはなし」は覚えて人の前で語れるようになるまでに時間がかかり、何度も語ることでその人の持ち味がでてきます。そこで、聞いている人が楽しくて語る人が何度語っても新しい発見がある「おはなし」を見つけるのは時間

がかかります。

「おはなし」を選ぶ観点については、松岡享子さんの『選ぶこと』（たのしいお話3 東京子ども図書館 1982年）に簡潔にまとめられています。そこから私なりに観点を抜粋し、まとめると以下になります。

○おはなしを選ぶときの観点

- ・構成がはっきりしているか。
- ・始めと終わりがはっきりすっきりしているか。
- ・次々と何かが起こって聞き手を飽きさせない内容か。  
（くさりのような展開）
- ・ストーリーが停滞せず、前に進んでいるか。
- ・おはなしに動きがあるか。（緩急は必要）
- ・絵になるか。（具体的な事象の重なりからおはなしが成り立っているか）
- ・結末は満足のいく結末になっているか。
- ・登場人物が魅力的か。あまり多すぎて混乱することはないか。  
（必要最小限の登場人物）
- ・視点人物がはっきりしていて、揺れないか。
- ・繰り返しが効果的に使われているか。
- ・ことばのおもしろさ、リズム感があるか。簡潔か。
- ・ユーモアのセンスがあるか。
- ・聞き手に合ったおはなしか。  
（幼すぎたり、難しすぎたり、長すぎたり、短すぎたりしないか）
- ・語り手に合ったおはなしか。

やはり、一番大切なのは、語っている人が「このおもしろい話を聞き手に伝えたい」ということに尽きると思います。何をおもしろいと感じ、どんなおはなしが聞き手に伝わるのかについて、次回からは具体的な作品を通して検討していきたいと思います。

\*次号は「その9 おはなしを語る（3）おはなしを選ぶ 2」の予定です。質問や意見をいただきましたら、お答えしていきたいと思います。（Y）

\*\*\*\*\*

《3》 サイト紹介 一子どもの本をリサーチする一

\*\*\*\*\*

資料所在情報データベース補遺篇〈その1〉

今回、ご紹介するのは以下のサイトです。

●公益財団法人 大宅壮一文庫 「Web OYA-bunko」

<http://www.oya-bunko.or.jp/>

ジャーナリスト・批評家として知られる大宅壮一は、自らの評論活動のため、明治時代以降の資料を収集し分類整理して活用したそうです。大宅が生前に収集した20万点の蔵書をもとに、それらを整理拡充したのが本文庫です。

2013年3月現在、雑誌約1万種類75万冊、書籍約7万冊を所蔵。広く一般に公開されているのですが、そのコレクションの特徴は雑誌にあります。雑誌は記事単位でデータ化されており（ただし全雑誌ではありません）、別

途検索のための索引が付されています。よって、精度の高い記事検索が可能で、かつ閲覧や複写サービスも利用できます。

その索引総数は 599 万件で、人名索引 14 万人 (263 万件)、件名索引 7,000 項目 (336 万件) に及び、雑誌記事データベースとして大変膨大なものです。このうち、WEB 版として公開されているのが 480 万件です。

例えば、NHK の朝ドラ「花子とアン」で話題になった村岡花子で検索すると、「人名項目」で 20 件、「フリーワード」で 12 件、「執筆者」で 6 件ヒットします。「わたしの愛読の作家、山本周五郎先生のこと」(『現代少年文学』 1967 年 6 月) や、「『花子とアン』ヒロインのモデルになった村岡花子さんの孫・村岡恵理さんが語る“花子の素顔” 書齋で大量のラブレターを発見！」(村岡恵理 『女性自身』 2014 年 4 月 15 日) などが抽出されません。

『少年倶楽部』など、少年誌への熱烈な投稿者としても知られる大宅。雑誌への執着は既に少年時代に築かれたのかもしれませんが。(J)

(注) 同文庫の WEB 版サービスは記事検索を含めすべて有料となります。ご注意ください。導入されている図書館等はこちら。利用など、詳細は各館へお問い合わせください。

[http://www.oya-bunko.or.jp/web\\_oyabunko/tabid/237/Default.aspx](http://www.oya-bunko.or.jp/web_oyabunko/tabid/237/Default.aspx)

※次号は、資料所在情報データベース補遺篇〈その 2〉の予定です。

\*\*\*\*\*

《4》 行って来ました！

\*\*\*\*\*

兵庫県立美術館で 12 月 28 日まで開催されている展覧会「だまし絵Ⅱ」に行ってきました。16 世紀から現代までの作品約 90 点が、手法や技法によって章分けされ展示されていました。

「プロローグ」では、アルチンボルドなど 16 世紀からの古典的な作品が展示されています。見た目は人物像にもかかわらず、よく見ると樽や瓶を寄せ集めて描かれていたり、壁面や戸棚に置かれた物が手に取れそうに見えたり、絵に虫が止まっているのかと思わせたり、側面から見たり円筒形の鏡を置くとか何が描かれているかわかる絵など、だまし絵のさまざまなパターンの作品が紹介されています。

次の章からは 20 世紀以降の作品です。第 1 章の「トロンプイユ」は目をだますという意味だそうです。指紋を押して描かれた人物像や、本当に目が動く肖像画、地面をパンチしてひび割れを作ったように見える人の写真などユニークな発想の作品が並んでいます。第 2 章「シャドウ、シルエット&ミラー・イメージ」では、もつれた針金の塊にライトが当たるとトカゲの影が表れる作品や、鏡に映るとピアノに見える立体物など、映しだされることで何かわかる作品が選ばれています。

第 3 章「オブ・イリュージョン」では幾何学的な図形や色の組み合わせで立体的に見えたり、色が変わって見えたりする絵や、石膏でとった顔型に描か

れて、実際はへこんでいるのに普通に鼻の高い顔に見える自画像などがあり、目の錯覚を使った作品の連続に酔いそうな気分になりました。第4章「アナモルフォーズ・メタモルフォーズ」では、エッシャーの実際に建てるのが不可能な構造の塔の絵や、ダリの風景画の中に人の顔や動物などが隠されている絵などに人だかりができていました。他にもカエルのような形のものに人の目と口だけ映し出した映像作品など、いろいろな種類の「だまし絵」を見ることができました。

子どもも大人も答えを見つけようとじっくり楽しんでいて、自分の発見をつい口に出している人もいて、いつもの静かな美術館の雰囲気とは違っていました。ミュージアムショップでもだまし絵にちなんで、本物のような果物のメモ、鉛筆型の箸、絵が変化するはがきなどおもしろいグッズが売られていました。(K)

---

### 【3】全国のイベント紹介

---

#### ● 多文化にふれる「えほんのひろば 2014」

自由に手にとって楽しめる日本語と外国語の絵本約 650 冊。

日 時：11 月 29 日（土）、30 日（日） 午前 11 時～午後 4 時

場 所：大阪市立中央図書館 5 階 （大阪市西区北堀江）

当日プログラム：

29 日（土）午後 2 時「多言語おはなし会」4 か国語で絵本を読みます

30 日（日）午後 1 時「多言語おはなし会」

午後 2 時 30 分「おはなしと音楽でインドネシアを感じてみよう」

講師：デワ・スギ、加藤恭子（日本・バリ教育文化交流協会）

参加費：無料 申込み：不要

主 催：NPO 法人 おおさかこども多文化センター

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

[http://www.iiclo.or.jp/03\\_event/04\\_other/index.html](http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html)

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

---

### 【4】プレゼント

---

今号のコラム《1》「YO! この本読んだ?」で紹介しました『文学少年と運命の書』を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガNO.51プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ(5)このメルマガのご感想をお書きのうえ [office@iiclo.or.jp](mailto:office@iiclo.or.jp) にお送りください。

締切は12月10日(水)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

今日、11 月 20 日は新酒ワイン、ボージョレ・ヌーヴォーの“解禁日”です。たいそうな、“発売日”でいいじゃないかと思いつつ、ワインバーのマ

スターに聞けば、「一つのイベント、お祭りですから、今年の出来をぜひ味わってください。」と。ならば値段もお祭り価格ってこと…心の中でツッコミながら、祭囃子にひかれて足は向かうのです…。(A)

---

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

[http://www.iiclo.or.jp/m1\\_magazine/index.html](http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html) パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

---

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp

---

---